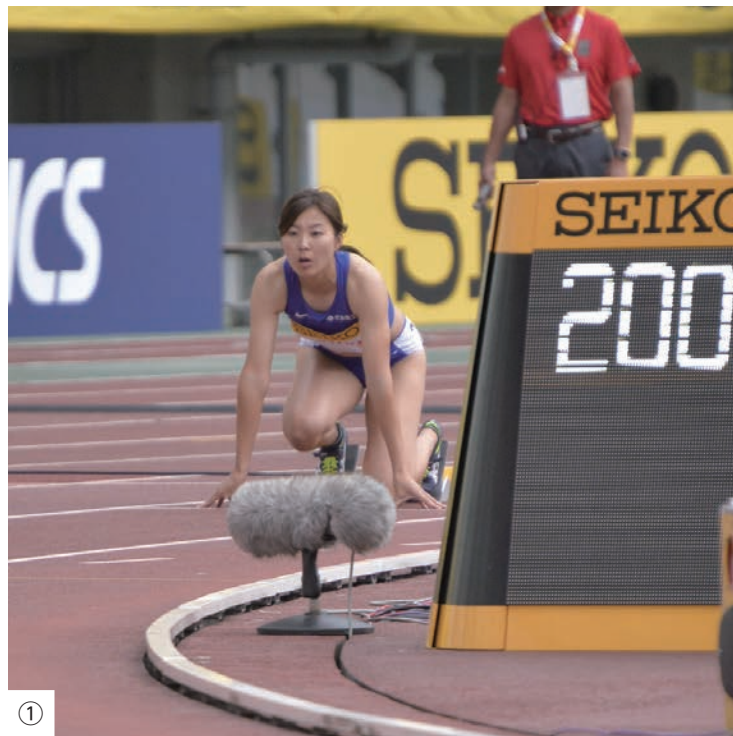




②



③



①

【写真】①セイコーゴールデンランプリ（ヤンマースタジアム長居）
②IAAF 世界リレー 2019 横浜大会に日本代表として 4 × 100mR に出場。
同大会では 4 × 200mR にも出場。見事、日本新記録を樹立されました
③4 × 100mR でアンカーとしてゴールに向かう（世界リレー 2019）
④全日本実業団陸上対抗戦（団体の部）で優勝された際の集合写真
写真①～④：住友電工提供

素敵な出会いに感謝

陸上に出会えたのも、続けられたのも、人との出会いのおかげです。走ることのできる人々と素敵な出会いがあり、その出会いが私を成長させてくれました。

加西の子どもたちへ

子どもたちにもっと走ってほしい。私のきっかけは、市や県の大大会でした。遅くてもいいので、チャレンジしてください。そして、陸上競技をぜひ見に来てください。夢をあきらめず、夢に向かって頑張ってください。



④

オリンピックを目指せることを楽しんでほしい

小学生のころの三宅さんの様子は？

放課後、一緒に練習をしたことが懐かしいです。4年生の時、初めて加西市陸上競技選手権大会で優勝。翌年、全国小学生陸上競技交流大会の県予選大会決勝出場。休み時間に、笑顔でタイヤ引きなど練習をする姿が印象的でした。

三宅さんへのメッセージ

三宅さんが努力されてきたことは、よく知っています。オリンピックを目指せることに誇りをもって、大いに楽しんでください。三宅さんの人生のそばにこれからも陸上が大切なものとして、輝き続けられるよう応援しています。



加西市立九会小学校 教頭
中井 俊尚 さん

走るとは 「人と人をつなぐもの」



陸上女子リレー日本代表候補 三宅奈緒香さんに聞く

加西市鶉野町出身の三宅奈緒香さん（住友電工陸上競技部所属）が、女子リレー新プロジェクトのセレクションにおいて、日本代表選手候補9名の一人に選ばれ、現在2020年東京オリンピックへの出場を目指し頑張られています。そこで、6月6日（木）伊丹市にある住友総合グラウンドで強化練習中の三宅さんにお話を伺ってきました。

きっかけ

小学校のとき、母校の九会小学校に、陸上を大好きな先生がいっぱいいました。私を含め、走ることが好きだった子どもたちを兵庫リレーカーニバルなどの大会に出場させたいと言ってくれ、放課後の貴重な時間を使って、練習をしてくださいました。頑張っている子をワンステージ上げようと努力してくださったことを覚えています。あのときの先生方のおかげで、今の私があります。

世界リレーが第一関門

オリンピックには、9月に開催される「世界陸上」で上位8カ国に入れば、自動的に出場できます。世界陸上に出場するためには、「世界リレー」で上位10カ国入りすることが条件です。これが、オリンピック出場の最短ルートです。

1月に日本代表候補に選ばれてから、5月に横浜で開催された「世界リレー」で上位10カ国入りすることを目指してやってきました。4×100メートルリレーの結果は13位予選敗退。個人の走りとしては、すごく良かったんです。でも、やっぱりリレーという競技は4人でバトンをつないだ結果を競う競技なのに、ミスしてしまっただけ。すごいショックでした。

一方、4×200メートルリレーでは日本記録を更新しました。特殊種目なので慣れなかったのですが、強いチームと走れ、すごく楽しかったです。日本記録とかはあまり意識せず、とにかく楽しもうという気持ちが強かったです。世界陸上への出場が決まっていれば良かったのですが、まずはすごく大きな経験ができました。

勇気を与えられる人に

目標は、2020年東京オリンピックへ日本代表として出場することです。やってきたことしか出せないのが、コツコツと積み重ねて結果に結びつきたいです。

また、私は遅咲きのスプリンターで、陸上女子だとベテランの部類です。社会人としてちゃんと仕事もして、好きな陸上を年齢的にも長く続けることで、陸上を目指す方に勇気を与えられるような存在になりたいです。